



平成 30 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 高 田 康 裕
(JASDAQ・コード番号：6769)
問 い 合 わ せ 先 取締役総務部長 山 本 武 男
電 話 番 号 0 3 - 5 2 1 7 - 6 6 6 0

Keysight Design Forum 2018 における技術講演のお知らせ

当社は高速インターフェースや画像処理の分野で世界をリードするミックドシグナル LSI 企業ですが、この度、2018 年 10 月 16 日にキーサイト・テクノロジー株式会社主催で東京・御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンターにて開催される Keysight Design Forum 2018^(注1)にて「高速・長距離伝送シミュレーションにおけるケーススタディ～V-by-One® US : 16Gbps FFC/FPC 伝送の Signal Integrity 解析～」と題した技術講演を行うことになりましたので、お知らせします。

今般、当社が技術講演を行う Keysight Design Forum 2018 は、キーサイト・テクノロジー株式会社主催の下、「設計」「開発」に携わるエンジニアを対象に、キーサイト・テクノロジー社外の講師より現実の解析事例に基づいた旬の技術情報を提供すると同時に、会社の枠を超えた設計者の交流の場とすることを目的としています。

当社は Keysight Design Forum 2018 の技術セミナーにて、山一電機株式会社様、キーサイト・テクノロジー株式会社様との共同セッション「高速・長距離伝送シミュレーションにおけるケーススタディ～V-by-One® US : 16Gbps FFC/FPC 伝送の Signal Integrity 解析～」において講演を行います。4K テレビの内部インターフェースにデファクト・スタンダード(事実上の世界標準)として活用されている V-by-One® HS 規格に続く次世代高速インターフェース V-by-One® US 規格を題材に、昨今のインターフェース規格の高速化に伴うシグナル・インテグリティ^(注2)確保の課題に対する高速・長距離伝送シミュレーションにおけるケーススタディを紹介します。当社からは、V-by-One® US 仕様概略、V-by-One® US 搭載デバイス、V-by-One® US 搭載デバイス用評価ボード、及びその伝送路について解説します。また展示ブースでは、評価ボードを使用した伝送デモンストレーションを行います。

当社は、今後も高速伝送技術をコアとする規格・製品群を、ディスプレイ産業分野を始め幅広い産業分野で提案し、産業の発展とお客様の付加価値向上に貢献していきます。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

(注1) Keysight Design Forum 2018 の詳細は、以下のページを参照:

<https://www.keysight.co.jp/find/kdf>

(注2) 機器内部のプリント基板や、プリント基板間を接続するケーブルなどに流れる信号の品質を指す。一般的に、信号の伝送速度が高速になるにつれ、信号品質の劣化は増加する。

ご注意:本文中における各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。

<報道機関各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 取締役総務部長 山本 武男
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 9-1 MD 神田ビル 4F
TEL 03-5217-6660 FAX 03-5217-6668
URL: <http://www.thine.co.jp> E-mail: ir@thine.co.jp

<お客様各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 営業部 ([お問合せフォーム](#))